

## 植物



**生育地**  
湖沼やため池

**サイズ**  
葉の長さは5~30cm

撮影: 脇田治

### ヒツジグサ

多年草の浮葉植物。6~11月頃に白色の花をつける。花は午前中から開花し、夜には閉じる。



**生育地**  
湿地やその周辺

**サイズ**  
高さ 約5m

### シデコブシ

東海地方でのみ見られる落葉小高木。花は葉が出る前の3~4月。花色は純白から濃いピンクまで。



**生育地**  
湿地

**サイズ**  
高さ 20~40cm

### シラタマホシクサ

東海地方でのみ見られる一年草。9~11月頃、花径の先に6~8mmの白い球形の花頭をつける。



**生育地**  
日当たりの良い草地

**サイズ**  
高さ 0.5~1m

### キキョウ

多年草。万葉集にも出てくる秋を代表する花で、7~9月頃に茎の先に数個の花をつける。

## 昆虫類



**生育地**  
湿原や休耕地

**サイズ**  
全長 ♂23~32mm  
♀22~31mm

### モートンイトトンボ

小型のイトトンボで、6月頃から羽化し、7月頃まで見られる。浅くて開放的な湿地を好む。



**生育地**  
湿地

**サイズ**  
全長 ♂17~21mm  
♀17~21mm

撮影: 吉田和也

### ハッチョウトンボ

日本最小のトンボで、4月頃から羽化し、9月頃まで見られる。オスは成熟すると全身が赤化する。



**生育地**  
丘陵地~低山地にかけての明るい林

**サイズ**  
前ばねの長さ 32~34mm

撮影: 小嶋誠

### ギフチョウ

成虫は年1回、多くの産地ではソメイヨシノの開花と同時期に羽化する。幼虫はカンアオイ類を食草とする。



**生育地**  
丘陵地~低山地の落葉広葉樹林

**サイズ**  
前ばねの長さ 約55mm

### オオムラサキ

日本の国蝶。大型のチョウで、クヌギ等の樹液に飛来する。幼虫はエノキを食草とし、落ち葉の中で越冬する。

## 鳥類



**生育地**  
標高およそ400m程度以上の山地で、急峻な谷や大径木のある森林

**サイズ**  
全長 ♂70~74.5cm  
♀77~83cm

撮影: 鈴木彰

### クマタカ(留鳥)

大型のタカ。森林性で林内を飛翔することが多く、生息地以外の場所で目にする機会は少ない。



**生育地**  
山間部の河川やダム湖

**サイズ**  
全長 38cm

撮影: 鈴木彰

### ヤマセミ(留鳥)

広いなわばりを持って生息し、山地の崖に横穴を掘って繁殖する。水中に飛び込んで主に魚類を捕食する。



**生育地**  
山間部の広葉樹林や針広混交林

**サイズ**  
全長 30cm

撮影: 鈴木彰

### ブッポウソウ(夏鳥)

老齢木の樹洞等で営巣することが多いが、近年は枯れ松での営巣が確認されている。主に昆虫類を捕食する。



**生育地**  
森林(スギ林)

**サイズ**  
体長 27~48cm

### ムササビ

夜行性で、皮膚の一部である被膜を広げ、木の間を滑空して移動する。植物の葉や種子等を餌とする。

## 両生類



**生育地**  
湧水のある小さな水たまりや湿地等

**サイズ**  
全長 ♂9~11cm  
♀10~13cm

撮影: 島田知彦

### アカハライモリ

産卵期は4~7月頃で、水草等で包むように1個ずつ産卵する。お腹の真っ赤な色は「毒あり」のサイン。



**生育地**  
低湿地

**サイズ**  
体長 ♂35~60mm  
♀40~70mm

### ナゴヤダルマガエル

産卵期は5~7月頃で、水田等の浅い止水で産卵する。トノサマガエルよりずんぐりした体型をしている。

## 爬虫類



**生育地**  
丘陵地から山地にかけての上流域

**サイズ**  
甲長 ♂約13cm  
♀約20cm

撮影: 矢部隆

### ニホンイシガメ

雑食性で、水草や果実、昆虫、巻貝等を餌とする。産卵期は6~7月頃で、1回に6~7個前後の卵を産む。



**生育地**  
河川や湿地、水田等

**サイズ**  
全長 70~140cm

撮影: 矢部隆

### ヤマカガシ

カエル類、オタマジャクシ、ドジョウ等を餌とする。有毒なヘビで毒を出す腺を2か所に持つ。